

文化財保護センター 出前授業

令和元年5月22日



2年生普通科（文系）の生徒を対象に、岐阜県文化財保護センターによる出前授業を行いました。

日頃の授業では日本史B・世界史Bを選択して歴史を勉強していますが、今回は「ふるさと教育」の一環として、県内の遺跡から出土した実物の土器をとおして、歴史を学ぶ楽しさを体感しました。

4種類の土器の破片を、それぞれ実際に手に取って観察し、時代の古い順番に並べていきます。初めて触る土器の感触に緊張しながらも、グループ内で意見交流をしながら、考えました。最後には完形に復元された縄文土器や弥生土器なども出てきて、とても充実した学習となりました。



《生徒の感想》

- ・実際に土器とか触ってみて、時代が変わるにつれて、こんなに変わっていくんだっていうことを体験できたのでよかった。この授業で、昔の人たちがどんな生活をするために、工夫して土器をつくっているのも学べたので、いい授業になりました！
- ・時代が進むにつれて技術が上がって行って、使いやすさや生活的な感じがでてきていることが分かりました。途中で作り方が変わっていて、須恵器以前と後では色やうすさと強度の両立もされていて、すごいと思いました。
- ・土器の特徴をとらえることによって、時代のことまでわかってしまうことが、自分自身で体験できたのでよかったです。時代の境目によって、土器の特徴が大きく変わっていく所がすごいと思いました。